

スペシャルタナーレクチャー開催報告



スペシャルタナーレクチャーが開催され、大盛況に終わりました

2016年5月18日に、大学講堂（徽音堂）にて日本初開催となるスペシャルタナーレクチャーが開催され、300名近い学外者を含む1200名に上る方々にお越しいただきました。

当日は、英国ケンブリッジ大学ニューナム・カレッジ学長のキャロル・ブラック氏を講師に迎えました。講演では、英国及び世界で社会における女性の活躍がいまだに男性と同等とは言い難い現状を踏まえ、「幼少の頃からの「女の子だから、男の子だから」という先入観の強い教育を変えていくことの重要性や、若い女性たちが自信をもって、失敗を恐れず物事に挑戦していくことの大切さ、また、男性や社会が女性の活躍を支えていくことの必要性を説かれました。キャロル・ブラック氏は、ケンブリッジ大学において、女性のいくつものリーダーシップ教育を運営・実践しておられ、若い女性を育てることへの情熱あふれる、含蓄のあるご講演となりました。

キャロル・ブラック氏のご講演ののち、本学名誉博士の遠山敦子氏によるスペシャルゲスト講演が開催されました。遠山敦子氏は、女性の上職位での活躍が乏しかった時代にキャリアを積まれたご経験を通して若い女性たちに励ましのお言葉をくださったほか、21世紀の困難をどのように乗り越えていったらよいかについて、若者たちへメッセージを送られました。

キャロル・ブラック氏

略歴：大英帝国勲章(DBE)受勲。王立内科医協会会長、王立アカデミー理事長などを歴任したのち、現在、王立内科医協会及び英国医学会フェロー。ケンブリッジ大学ニューナム・カレッジ学長をつとめる傍ら、英国保健省及び英国公衆衛生庁の衛生・労働専門委員として活躍する。設立を手掛けたロンドンのロイヤル・フリー・ホスピタルの研究センターは、硬皮症等、結合組織の疾患の研究・治療で世界をリードする。



本学HPでは、当日のご講演の様子を動画で
www.ocha.ac.jp/tanner/ja/

スペシャルタナーレクチャー 記念レセプションが開催されました



スペシャルタナーレクチャー終了後には皇后陛下をお迎えし、記念レセプションが開催されました。皇后さまは講演者のキャロル・ブラック氏と遠山敦子氏をはじめ、学内外関係者とにこやかに会話を交わされました。

スペシャルタナーレクチャーについて

タナーレクチャーは、アメリカの学者かつ実業家であり、また博愛主義者でもあったオバート・クラーク・タナー氏によって設立されました。オバート・クラーク・タナー氏は、この講義が人類の知的かつ倫理的営みに貢献することを願い、また人間の行動と価値についてのよりよい理解を求めるものだとしています。

タナーレクチャーの講演者は、「Human Value」の分野における際立った功績と傑出した能力が認められる方々です。講演者は、哲学、宗教学、人文科学、科学、創造的芸術、学問的職業(神学・法学・医学) もしくは公的または私的取り組みにおけるリーダーシップを発揮した方々の中から選出されます。この栄誉は、国際的かつ異文化をまたぐものであり、民族、国家、宗教、また観念形態のすべてを超越して優れたものに与えられます。

タナーレクチャーは、これまでハーバード大学(米国) やオックスフォード大学(英国) など、世界を代表する大学のみで開催されてきましたが、これまでに行ってきた大学以外の大学でも特別に行う、スペシャル・タナーレクチャーが開催されるようになりました。このたび、本学でのグローバル女性リーダーシップ教育に関心が集まり、日本初のスペシャル・タナーレクチャー開催校に選ばれました。



遠山敦子氏

略歴：東京大学法学部卒業後、文部省初の女性キャリアとして入省。高等教育局長、文化庁長官、駐トルコ共和国日本国大使、国立西洋美術館長を経て、2001年小泉内閣の文部科学大臣に就任。その後、新国立劇場運営財団理事を務めた。現在はトヨタ財団理事長、日本いけばな芸術協会会長など。

ご覧いただけますのでぜひご覧ください。

スペシャルタナーレクチャー開催報告